

## トピックス

①赤外線光学フィルタに関して、製品力強化と開発スピードアップのため東海大学室谷研究室と「赤外線領域の成膜技術の研究」について共同開発を開始

②基板材料へのアンダーコート、オーバーコート最適化するとともに銀の蒸着方法を工夫することで、高い耐久性を持つ**純銀ミラー**を開発。某PJメーカーの短焦点型PJの投影ミラーに採用が決定し量産へ移行。

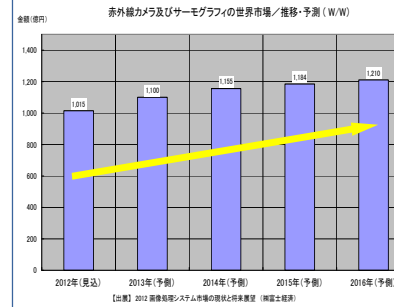
③従来の反射鏡生産用の真空蒸着装置2台を改良し**PAD (Plasma Assisted Deposition)方式**を導入。  
⇒ 量産を見込んだ装置にて開発中  
(この装置で②を量産)



③PAD方式による成膜の様子

## 14/3期の単年度黒字化を達成し、将来の柱へ育成

①赤外線光学フィルタ製品市場の一例  
赤外線関連製品の市場規模は2016年に約1,200億円と推定される(人感センサー・FA・セキュリティ等を含む)。



### 今後の展開

- 各種展示会(2012年11月の赤外線フェア等)で接触した見込み顧客にアプローチし案件具体化を推進中
- 薄膜新材料と新成膜方式によって当社保有の多層膜技術を融合し製品分野を拡大
- 銀ミラーのPJメーカーへの展開とHUD等の他の用途への展開を模索

# 2014年3月期 業績予想

## 業績予想(連結)

(単位:百万円)	2013年3月期 実績	2014年3月期 予想
売上高	5,201	5,876
営業利益	-343	93
経常利益	-303	110
当期純利益	-311	75